

表1-1 実施計画表

1. 〇年度実施事業の概要

2. 〇年度実施事業の進捗状況(前年度からの進捗)

3. 〇年度実施事業の予算(前年度からの進捗)

4. 〇年度実施事業の成果(前年度からの進捗)

2. D. (施策を構成する各事務事業の取組内容・今後の方向性)

コード	事務事業名 (担当課名)	成果目標名 【指標型】	〇年度			目標値 (5年度)	〇年度の 状況	〇年度実施事業に基づく評価結果			
			上段: 成果目標 目標値					〇年度以降の方向性	〇年度以降の方向性		事務事業の方向性を判断した理由 ・目標年次の変更等の理由 等
			中段: 成果目標 実績値						成果	コスト	
重 施 01 事 〇〇	〇〇〇改良事業 (事業推進課)	〇〇〇整備進捗状況 (全6工程) 【進行管理型】	3工程 3工程	3工程 3工程	4工程 工程	6工程(累計) 5年度完了	やや 遅れ	継続	維持 維持	船舶の大型化や施設の老朽化に対応するた め、着実に事業を進めていく必要がある。	
			2,225,017千円	2,572,696千円							

「各年度の状況」の考え方
各年度の状況は下図のような考え方を基本として判定しています。
指標型は「進行管理型」と「単年度管理型」の2種類に分類されています。

「進行管理型」
事業開始等からの累計値
(目標値・実績値)に
よって進行管理する型
例: 建設・整備事業の
進捗率など

最終目標値
令和3年度値(順調の場合)
初期値

平成30年度 令和3年度 最終年度

順調(80%以上)
やや遅れ
(60%以上~80%未満)
遅れ(60%未満)

「単年度管理型」
単年度の目標値・実績値に
より目標管理
例: 活動回数、来場者数など

目標値

平成30年度 令和3年度 最終年度

目標値を上回る(100%超)
目標値通り(100%)
目標値をやや下回る
目標値を下回る
(80%未満)

注: 目標値については、5年間一定の場合もあります。

「令和5年度以降の方向性」
・令和4年度の状況を受け、令和5年度以降の方向性を判定しています。

区分	内容
継続	施策の成果向上・維持のため、事務事業を継続することが妥当
完了	目的を達成したため、事務事業を完了することが妥当
延伸	状況を勘案し、目標年度を先送りするもの
休止	状況を勘案し、事務事業を休止するもの
廃止	終期を設定し、事務事業を廃止することが妥当

・「成果・コスト」は、令和5年度以降の取組として資源(財・人)投入をどうしていくかによって、原則、6通りの方向性に分類して判定しています。

